

愛東地区まちづくり協議会

★愛の田園ネット★

2012
2月号
No.43



祝 成人おめでとう！



次代を担う新成人が大人の仲間入り。これからの皆さんのご活躍に期待！



あなたは、自分のまちが、「好き」って言えますか？
胸をはって自分のまちが、「好き」と言いたいですね。



「備えあれば憂い無し」 あいとう防災講演会を開催！

去る、12月15日(木曜日)、午後7時20分より愛東コミュニティセンター大ホールにおいて「あいとう防災講演会」を開催しました。当日は約160名の参加を得て熱心に聴講をいただきました。

特に、昨年は3・11東日本大震災や台風12号、15号といった大災害に見舞われた年であり、「災害は何時やってくるかわからない」状態であることを踏まえ、今一度、地域での防災意識の向上、防災の取り組み、助け合い・支え合いの大切さを再認識していただくため開催をいたしました。

はじめに、阪神・淡路大震災の北淡震災記念公園の「震災の語りべ 池本啓二氏」による「野島断層と阪神・淡路大震災から学ぶ」と題した講演をいただきました。阪神・淡路大震災の被害状況を報告され、その時の地域での復興に向けた取り組み



▲「野島断層と阪神・淡路大震災から学ぶ」と題した講演を行う池本啓二氏

や危機に備える心構え等の確な教示をいただきました。その防災の基本は「自分の命は自分が守る・自分の命があつてこそ、家族を助けられる、さらに家族みんなが力を合わせて地域を守る」隣近所のコミュニケーションの大切さの教えは、防災のまちづくりの中心的な役割を果たされる参加者の皆さんにとって大変参考になるお話でありました。

次に、「あいとうで今、考えたこと」と題して、地元での危

▼防災講演会に参加の皆さん



機管理について、東近江市消防団長 植田藤男氏と第5方面隊(愛東地区)隊長 吉岡新次氏により講話をいただきました。滋賀県の災害状況や愛東地区での危険な箇所など、より身近な内容を説明いただき、また、愛東地区の自主防災組織の状況と取り組みの現状等の報告をいただきました。これからの災害に備えた住民の支え合いの体制づくりが「安心・安全の地域づくり」

に繋がることのお話をいただきました。

展示関係としてロビーにおいて、あいとう地区の災害写真展・宮城県気仙沼市災害ボランティア写真展・東日本大震災と災害ボランティアセンター写真展・防災ずきんの展示及び救急鳥展示・転倒防止家具展及びDVD・防災グッズ展を行いました。

最後に、本講演会の共催をいただきました自治会連合会をはじめ、地区社会福祉協議会、民生児童委員会、赤十字奉仕団、消防団、等々の皆さんには色々ご協力をいただき有難うございました。

昨年、被災された各地域は、今尚、厳しい状況であります。一日も早い復興を祈念いたします。



へえ、そうなんや

愛東の歴史

その1

「和歌に詠まれた園町」

ずいぶん前から「まちづくり情報誌」に、愛東の歴史を連載してきました。ひらく言え「愛東町史」、正式に言えば「東近江市史 愛東の歴史」をつくっていた市史編さん室の職員さんをお願いして、文章を書いていただきました。

しかし、情報誌発行を毎月にしたこともあって、これからは広報部会で愛東の歴史を紹介していきたいと思います。分厚い『愛東の歴史』全三巻を頼りの作業です。もちろん、市史編さん室にも、アドバイスもいただきます。現に、今回の内容は全部編さん室からいただきました。

さて、園町が詠まれた和歌とは？

ちょうど暴れん坊將軍が活躍していたころの一七三四年(享保一九)、『近江輿地志略』という本がつけられました。ここで、神うくる 豊の明に 木綿園の 日陰のかづらぞ 映え増さりける

の和歌とともに、ここに出てくる「木綿園」とは、園町であると説明されているのです。これ以上のことは書かれていないので、詳しい内容がわからないのは残念です。

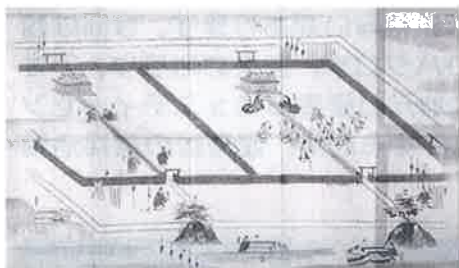
しかし、この和歌は一一五五年(久寿二)に詠まれたことがわかってきます。時代はちやうど、平清盛が力をつけてきたころです。さらにこれは、後白河天皇が即位した儀式(大嘗祭)の中で、つくられているのです。そして、

この儀式でつくられる和歌には、ひとつのルールがありました。即位式に稲を献上した国、この時は近江国ですが、その国名を読み込むというルールです。この和歌からは、木綿園が地名と考えられ、園町にあたるというのです。当時、木綿は「ゆう」と読み、神に捧げる御幣に使われる楮の繊維を裂いたものをさしました。厳かな儀式にふさわしい地名にまちがいありません。

もし『近江輿地志略』に書かれたとおりだとすると、当時の園町は都の貴族にも知れ渡った有名なところであったということになります。

『愛東の歴史』では、この考えに否定的な見解も示されています。ぜひ、ご一読を！

【参照】『愛東の歴史』第二巻一五四頁



▲天皇即位式の翌日の宴で和歌を詠むよつす

言葉の不思議

「てれこ」

掃除は「てれこ」にしようと言う風に使います。交互という意味でしょうか。(リン)



百濟寺のヒカンザクラ

あじむてんキョト



出前サンタ2011



今年も、愛東地区まちづくり協議会では、出前サンタの募集をしたところ、なんと15ヶ所からの依頼がありました。サンタさんの突然の訪問にみんな大喜びでした。クリスマス前は、サンタさんは子ども達に夢を届けるのに大忙しでした。サンタさんは、各地区それぞれの催し物に参加してきました。みなさんに、喜んでもらえたでしょうか。



出前サンタ訪問先：リトミック教室、鯉江町自治会、マーガレットキッズ、百済寺本町しあわせホーム、愛東北幼稚園、愛東南幼稚園、かすが保育園、湖東保健センター、百済寺本町子供会、北坂子供会、上中野町自治会、大覚寺子供会、小倉町子供会、市ヶ原子供会、南幼稚園学童保育

愛東北小学校からのたより

水鳥観察会

北小学校の5・6年生



12月7日水曜日、5・6年生が水鳥観察会を行いました。この観察会は環境学習の一環として10数年続いており、池之尻町の恵美須溜に飛来する野生の渡り鳥たちの種類や羽数を確認する活動を通じて、地域環境の保全意識を高めるねらいがあります。今回は越冬のために飛来してきたコガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロや、在来のカワウ、アオサギなど約300羽の水鳥に出会えました（観察会講師は地元の愛東コミュニティーセンターの村山館長でした）。また水鳥にとって住みよい環境にするため、溜周辺の清掃活動も行いました。

撮影 村山 明子





地域が支えるコミュニティバス

京都伏見 醍醐コミュニティバス市民の会を視察

ちよこつとバスプロジェクトリーダー 伊藤新之右

11月25日、京都市伏見区の「醍醐コミュニティバス市民の会」に、ちよこつとバスプロジェクトでお話を伺いに行きました。コミュニティバスと位置づけられるものは各地で運行されていますが、醍醐コミュニティバスは平成16年から全国で初めてといわれる市民手作りによる「市民共同方式」で行われています。運営のすべてを醍醐コミュニティバス市民の会が行い、バス運行は市内のバス事業者（ヤサカバス）に委託されています。醍醐地域は区域内人口が5万5千人と愛東地区の約10倍であり、5路線で一日平均1600人、年間約60万人が利用されています。地域が高齢者が多く主な利用者は高齢者ということでした。地域の特色があり単純な比

較はできませんが、人口規模だけで考え愛東地区に置き換えることになり（愛東地区では現在約2万人が利用）、醍醐コミュニティバスがいかに市民に利用されているかがうかがえました。特徴的なのは市民共同方式の名の



▲京都市伏見区の「醍醐コミュニティバス市民の会」の皆さん

とおり、パートナー（企業）や個人サポーター（市民）制度がありその協賛金は運営の主な財源となっています。まさに地域が支えるコミュニティバスといえます。今回お世話になった醍醐コミュニティバス市民の会、副会長の西さん事務局長の今福さんには会の中心としての苦労話や思い出、これからの展望を熱く話していただきました

▼醍醐コミュニティバスの説明を受ける視察の皆さん



醍醐コミュニティバス運行7周年
利用者300万人突破記念式典



日時：平成23年2月13日（日）午後1時30分～午後4時40分
場所：京都府議会議員会館（セオ・ダイゴロー西館2階）
主催：醍醐コミュニティバス市民の会

た。愛東のちよこつとバスも今後はより以上に利用者を増やし、後に皆で苦労話できるようなコミュニティバスにしたいものです。皆さんのご協力をお願いします。

あいとう診療所便り

熱が出た時の対処法



新しいワクチンをご存知ですか？

冬場に嘔吐・下痢を引き起こす胃腸炎の原因として有名な「ロタウイルス」をご存知ですか？ロタウイルスによる胃腸炎は乳幼児(主に6カ月児から2歳児)がかかりやすく、嘔吐・下痢だけでなく脳炎などの重い合併症を起こす可能性があります。

最近日本で承認されたロタウイルスワクチンは、ロタウイルスによる胃腸炎を防いだり、軽くしたりして、点滴や入院が必要になるほどの重症例を約90%減らします。結果として、脳炎などの重い合併症も防ぎます。

ロタウイルスワクチンは飲むタイプの生ワクチンのため、接種後に4週間以上間隔をあげなければ次のワクチンを接種できません。0歳児は他にも接種が必要なワクチンが多数ありますので、同時接種で受けることが重要です。生後2か月になったらヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎ワクチンなどと同時接種で受けることをおすすめします。

ご質問のある方は、あいとう診療所までお問い合わせください。

● あいとう診療所
0749-46-8030 IP 0505-801-8030

愛東地区の行事予定

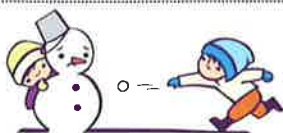
2月

4日(土) 第8回あいとうスキー&スノーボードツアー

11日(土) 第28回老人クラブふれあいの集い

12日(日) 資源回収

19日(日) 第20回あいとう芸能発表会



第8回 ~絶望から希望へ~

全国菜の花学会・楽会 in 東近江

同時開催! 東北応援 元気市

日時 2月12日(日)

元気市: 12:00~

学会: 13:30~

学会基調講演「絶望から希望へ」

NPO法人チェルノブイリ救援・中部 理事

河田昌東さん

会場 愛東コミュニティセンター

この催しは、全国に広がった資源循環の地域モデル「菜の花プロジェクト」発祥の地愛東で、持続可能な再生エネルギーの可能性と、それを支える人たちの情報交換と交流の場として毎年開催されています。

特に今回は、震災による原発事故の放射能問題や、これからのエネルギー、農業復興について皆さんと一緒に考えたいと思います。

また、東北応援元気市では、福島県の美味しいものや、特産品を多数販売いたします!

ひとりでも多くの方々にご来場いただき、東北復興支援のご協力をお願い致します。

【学会への参加お申し込み・お問い合わせ】

あいとうエコプラザ菜の花館

0749-46-8100

(火曜・祝祭日を除く9:00~17:30)

【東北応援元気市】

申し込み等は不要です。

直接、愛東コミュニティセンターへお越し下さい。

まち★NOTE

今年こそは・・・、「変えてくれそうだから投票しました。」の言葉が表すとおり、国のこと地域のこと、みんな現状からの変化を求めています。しかし誰かがやってくれると人任せだけでは何も変わるものではありません。今年こそは自ら変わりまた変えていきたいものです。

(右)

